

2013 年 9 月 30 日

「晩期再発乳癌の生物学的特徴と予測因子に関する研究」へご協力をお願い

ー2000 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日までに当科において乳癌の治療を受けられた方へー

研究機関名	岡山大学病院	乳腺内分泌外科	
責任研究者	岡山大学病院	乳腺内分泌外科	教授 土井原博義
分担研究者	岡山大学病院	乳腺内分泌外科	助教 枝園忠彦
	岡山大学病院	乳腺内分泌外科	伊藤麻衣子
	岡山大学病院	乳腺内分泌外科	三好雄一郎

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究の意義] 乳癌転移に対する再発予測と治療の確立を可能にする。

[研究の目的] 晩期再発の危険因子について臨床病理学的因子、治療法、各種タンパク質の発現解析などを行うことで調査します。

[被験者が被る不利益] ありません。

[研究期間] 2013 年 9 月より 2016 年 3 月 31 日まで

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳癌の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2004 年 12 月 31 日の間に乳腺内分泌外科で乳癌に対して手術または術前薬物療法を開始して、病理検査を行った患者さん。

●利用する検体およびカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、手術内容、治療内容、再発の有無、乳癌の病理組織所見、最終観察日、転帰

検体：手術残余標本または針生検標本

[個人情報の取り扱い]

調査情報は岡山大学病院乳腺内分泌外科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 28 年 12 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様は不利益が生じることはありません。

[問い合わせ先]

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 枝園 忠彦
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 電話 086-235-7265